

## 医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.1~2)

### 第1回医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.1)

- 日時 平成30年5月23日(火) 10時~16時15分
- 会場 岡山県医師会館 401会議室他
- 出席者 50病院70名・委員14名

午前は接遇・マナー研修、午後からは希望グループに別れての専門基礎講座を行った。

#### 接遇・マナー研修

#### 「接遇」



講師  
岡山済生会総合病院  
森下 妙子 接遇担当係長  
人事課

接遇とはもてなしのことでありサービスとは違う。もてなしとは患者の立場に立つて気遣うことである。たとえば、雨の日に患者が来院された場合、玄関前に傘袋を準備しておくのはサービスであり、「雨の中ようこそおいでくださいました」と声をかけするのがもてなしである。高齢の患者であれば、二人がかりで靴下を履かせる行為などは、お葬式の着付けであり死を連想されかねないので避ける方がよいと、実例を挙げられた。

メラビアン法則では、人の第一印象は視覚情報で55%、聴覚情報で38%、

話の内容で7%が決まると言われている。このことから、医療従事者として「どう見られるか」を意識することが非常に重要である。病院職員としての身だしなみや立ち姿、笑顔でのあいさつや正しいお辞儀の仕方、うなずきやあいづちを交えながら聴く姿勢など、実践も取り入れて学んだ。

また、「ありがとう」という言葉の魅力についても述べられ、講演の最後に受講者同士で握手をして「ありがとう」と笑顔で終えた。

#### 希望グループ別基礎講座

##### 急性期（DPC含む）グループ

(23病院33名出席・委員4名)

急性期グループでは、入院料等について急性期に関連する部分の特徴を理解することを目的に、研究会テキストとパワーポイントを用いて解説した。入院基本料・加算は、急性期一般入院基本料を例に基本的な算定ルールや入院診療計画書、医療安全管理体制、院内感染防止対策等の算定要件を説明した。特定入院料は、特定集中治療室管理料、地域包括ケア病棟入院医療管理料等を例に説明した。また、DPC/PDPSについては、制度の概要からツリー図を用いた診断群分類決定までの考え方や仕組みについて説明を行った。

(医事業務委員 諏訪仁二)

##### ケアミックスグループ

(23病院32名出席・委員4名)

ケアミックスグループでは、入院料を算定する上での療養環境の提供、入院期間の確認等算定の原則について、また、一般病棟入院基本料の概要や、入院時食事療養費について説明した。療養病棟入院基本料については、歴史の変遷と取り巻く環境を踏まえ、入院料や加算を説明。DPCでは、仕組みから包括範囲、診断群分類番号の構成や診療報酬の算定の仕方について説明。特定入院料では、回復期リハビリテーション入院料と地域包括ケア入院料にスポットを当て、適用患者の説明や算定条件を中心に説明した。

(医事業務委員 河原秀明)

##### 精神科グループ

(4病院5名出席・委員3名)

精神科グループでは、研究会テキストに沿って精神科専門療法の説明を行った。今年度新設された部分について、背景とともに説明した。また、保険請求時のポイント・留意点についても説明した。精神療法については、暦月・暦週の全体の考え方も説明した。入院料については、精神病棟入院料・特定入院料の違いを説明。練習問題を行い、内容の理解を深めた。

(医事業務委員 石田浩子)

### 第2回医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.2)

- 日時 平成30年5月29日(火) 10時~16時10分
- 会場 岡山県医師会館 401会議室他
- 出席者 52病院73名・委員13名

第2回からは、病院規模別の3グループに分かれて、「受付から請求まで」「診察料」「医学管理」についてテキスト及びスライドを使用して講義を行った。

「受付から請求まで」では、守秘義務・個人情報保護法、医療事務、医療保険制度などの基本事項と病院職員としての心得などをわかりやすく解説した。

「診察料」では、初診料・再診料・外来診療料について、算定原則・加算の考え方、通則の解釈などを具体的に説明した。

「医学管理」では、多くの医学管理の項目の中から、今後関わりの多くなる項目をいくつか取り上げて内容や算定ルールなどを解説した。各講義の後に、練習問題を解き、回答と解説を行い、より理解を深めた。

(医事業務委員 西崎幸子)



## 医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.3～5)

### 第3回医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.3)

- 日時 平成30年6月14日(木) 10時～16時05分
- 会場 岡山県医師会館401会議室他
- 出席者 51病院70名・委員12名

第3回は在宅医療、投葉、注射について講義を行った。

「在宅医療」はテキストとスライドを基に第1節の往診料と在宅患者訪問診療料の違い、第2節の在宅療養指導管理料と材料加算における代



▲受講風景

表的な項目を取り上げ、算定における留意点等を解説した。

「投葉」「注射」はテキストを中心に外来と入院の算定方法の違い、薬価計算(五捨五超入)等について説明した。

練習問題では、実際に点数算定や診療報酬明細書の記載方法を講師と受講者が一緒に解きながら理解を深めた。

(医事業務委員 南石良子)

### 第4回医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.4)

- 日時 平成30年6月22日(金) 10時～16時05分
- 会場 岡山県医師会館 401会議室他
- 出席者 50病院70名・委員12名

第4回は処置、手術、麻酔についてテキストとスライドを使って講義を行った。

「処置」は、費用の算定の原則、対称器官等の通則の部分、実際の処置行為にあたる創傷処置、ドレーン法、人工腎臓、人工呼吸、ギブス包帯など一般的によく出てくる項目について算定のルールや点数の取り方について説明し、まとめとして練習問題を解いた。

「手術」は創傷処理、輸血、整復術等の手技料とそれに伴う薬剤料、

特定保険材料料の計算について、「麻酔」は硬膜外麻酔、閉鎖循環式麻酔など、通則を交えた練習問題を使いながら説明し、解くことで理解を深めた。また、診療報酬明細書の書き方を解説した。

(医事業務委員 河原秀明)

### 第5回医事業務研究会

(新任者教育基礎講座No.5)

- 日時 平成30年6月29日(金) 10時～16時10分
- 会場 岡山県医師会館 401会議室他
- 出席者 50病院69名・委員13名

5月23日から始まった新任者教育基礎講座の最終回となる第5回は検査・病理診断、画像診断、リハビリテーションの診療報酬点数について講義を行った。

「検査・病理診断」については、算定の原則である通則部分を中心に、検体検査・生体検査及び病理診断の算定における留意点の説明を行った。

「画像診断」については、エックス線診断料やコンピューター断層撮影診断料における算定の留意点とし

て、「同一の部位」の取り扱いや、「同時に」の解釈等を説明し、算定の例を示しながら解説を行った。

「リハビリテーション」については、5種類の疾患別リハビリテーションを中心に、算定単位の上限や標準的算定日数等について解説を行った。

それぞれの講義の最後には、点数算定やレセプト例題による練習問題を行いながら内容の理解に努めた。最後に、5回全ての講義に出席した受講者62名に修了書を授与し、新任者教育基礎講座は無事終了した。

(医事業務委員 高田知行)



▲修了書授与